

令和7年3月27日
国土交通省関東地方整備局
総務部

関東地方整備局入札監視委員会 審議概要 (第二部会 第2回定例会議)

関東地方整備局入札監視委員会第二部会の第2回定例会議が、令和7年1月22日、横浜市内で開催され、工事2件、建設コンサルタント業務等2件、物品・役務の提供等1件の入札結果が審議されました。

審議内容は別紙のとおりです。

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ 埼玉県政記者クラブ 神奈川建設記者会 横浜海事記者クラブ

<問い合わせ先>

関東地方整備局 総務部

電話：045-211-7413（代表）

メールアドレス：pa.ktr-keichou@mlit.go.jp

契約管理官 大野（内線：5880）

品質確保室 室長 鈴木（内線：5797）

令和6年度

関東地方整備局 入札監視委員会第二部会第2回定例会議 審議概要

開催日及び開催場所		令和7年1月22日（水） 関東地方整備局 131・132会議室	
委 員		渡 邊 健 治（東京大学大学院 教授） 土 屋 志 穂（拓殖大学 准教授） 石 坂 元 一（中央大学 教授）	
審 議 対 象 期 間		令和6年4月1日～令和6年9月30日	
審 議 案 件		総件数	5件
工 事 一般競争入札方式		2件	
	政府調達	1件	
	政府調達以外	1件	
建設コンサルタント業務等		2件	
物品・役務		1件	
委員からの意見・質問、 それに対する説明・回答等		意見・質問	説明・回答
		別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申 又は勧告の内容		特になし	

○ 問い合わせ先

横浜市中区北仲通5丁目57番地 横浜第二合同庁舎

電話 045-211-7413（経理調達課）

国土交通省関東地方整備局 入札監視委員会第二部会事務局

契約管理官 大 野

品質確保室長 鈴 木

意 見 ・ 質 問	説 明 ・ 回 答
【報告事項】 (1) 入札・契約手続の状況等報告 (2) 指名停止等の運用状況等報告 (3) 談合情報等の対応状況報告 (4) 一者応札の発生状況報告 (5) 高落札率の発生状況報告 (6) 事務所毎の平均落札率の推移 (1)～(6) 報告内容に対する意見・質問なし	
【事案1】 一般競争入札方式（政府調達対象） 「令和6年度 横浜港本牧地区荷さばき地改良工事」 この工事では、8者から応募があったが、応募者数は多いのか認識を伺いたい。 政府調達対象の工事は特定建設工事企業体（以下「JV」という。）が落札することが多いですが、単体有資格業者（以下「単体」という。）が参加しやすく、落札できるような取組はできないのか伺いたい。 競争参加資格において、JV の代表者は施工深度（-14m）以上の施工経験、JV の代表者以外の構成員については施工経験のみで参加要件が違うが、サンドコンパクションの施工深度（-14m）はどのように決めているか伺いたい。また、JV の代表者以外の構成員は、今回の施工規模の実績を積むことで、次回以降 JV の代表者や単体での参加が可能になるということなのか伺いたい。	この規模の工事では5者前後の応募が多いので、8者からの応募は多い印象です。 工事の発注にあたっては、各プロジェクトの規模と毎年の予算状況を勘案して適切な工事規模を設定し、参加資格要件の設定を行っています。なお、技術提案の評価については、提出のあった技術提案書を評価しますので、JV や単体といった参加形態が評価に影響することはありません。 例えば、本工事の施工深度20mであれば、求める実績は、7割程度の14mで設定しており、同規模の工事実績が無ければ参加できない要件設定とはしていません。また、JV の代表者以外の構成員については規模要件を設定していないため、現時点では実績が無くても、JV の構成員として受注し実績を積むことで、今後、単体やJV の代表者として入札参加することが可能になります。JV の代表者には詳細な経験を求めますが、構成員にはなるべく実績を緩和して経験を積んでもらう工夫をしております。

JV の代表者はサンドコンパクションの施工経験を求め、構成員はサンドコンパクションの施工経験ではなく近接施工の対応に長けた経験を持つ者との組み合わせでも良いと思うが、両者ともサンドコンパクションの施工経験が必要なのか伺いたい。	1つの工事で複数の施工経験を求めた場合、単体の参加者にも同様の経験を求めることから競争に参加しづらくなることも想定されますので、今回は主たる工種であるサンドコンパクションの施工経験を求めています。本工事は供用中のコンテナターミナルの運営に支障を来さないように、近接施工での工夫が重要であることから、入札参加者による技術提案を適切に評価することで、今回の地盤改良工法や施工場所の特性を十分に反映した、より良い施工が担保できると考えています。
【事案2】 一般競争入札方式（政府調達以外） 「令和6年度 茨城港常陸那珂港区外港地区東防波堤根固工事」 7者から参加申請があり、うち2者が入札辞退、2者が予定価格超過の応札、1者調査基準価格未満の応札であったが、その理由を伺いたい。 国の受注実績がある者が有利な評価方法だと、地元企業や中小企業の新規参入を狭めることになると思われるが、対策や工夫は考えているか伺いたい。 今回辞退はあったが多くの企業が参加しており、参加者を増やすために工夫した点等があれば伺いたい。	応札者に、見積参考資料を提示しておりますので、適正な金額で積算できると考えておりますが、BC ランクの場合、中小企業が多く、国の発注工事に対して不慣れな企業もあることが原因の1つと推測されます。当局が見積参考資料などの公告資料に関して質問を受け付けていることなど、適切な応札が可能となるよう努めてまいります。 発注にあたっては、工事内容に応じ、工事成績、表彰の実績を評価対象外とする「チャレンジ型」の適用など、地元企業や中小企業の新規参入が可能となるよう検討してまいります。 本工事は、過去に不調になったことがある案件であり、業界との意見交換会での意見などを踏まえ、発注規模や発注時期を見直した結果、多くの企業に参加をさせていただきました。

【事案3】

簡易公募型競争入札方式（測量・調査）

「令和6年度 千葉港千葉中央地区土質調査」

土質調査の金額としては高い印象であるが、高くなった理由を伺いたい。また、評価方式で価格評価点と技術評価点の割合が1：1としたのは、海上の一般的な土質調査の評価方式になっているのか伺いたい。

土質調査として8者の参加申請は妥当な数なのか伺いたい。また、今回は一般的な土質調査の評価方式となっているが、特殊なものとなった場合、技術のウエートを高くする土質調査の評価方式もあるのか伺いたい。

土質調査は今後の設計につながる非常に重要な調査であるが、最初から調査地点や数量等を決められた仕様で発注しているのはなぜか。例えば地盤調査会社が防波堤の設計・性能を考えて必要な調査地点や数量等を技術提案で求めるような発注形態にすれば参加する意欲が湧き、企業の技術力向上につながることになると思うがどうか。また、契約後でも追加で調査が必要となる項目が出た場合は、柔軟な対応を取ることがあっても良いと思う。

積算については「港湾請負工事積算基準」に基づいて予定価格を算出しております。本調査では、船舶を使用した鋼製櫓の運搬・設置・撤去の作業があることから、陸上の土質調査に比べると高くなります。また、本件は、海上における土質調査であります。特に難しい業務ではありませんので、1（価格評価点）：1（技術評価点）の評価方式で実施しております。

当事務所では、令和4年度にも海上の土質調査を発注しましたが、その時も8者から参加申請があり、参加申請者数は妥当であると考えております。総合評価方式については、評価テーマを設定し技術提案を求めるべき調査内容である場合には、技術評価点にウエートを置いた1（価格評価点）：2（技術評価点）の方式を用いて発注することもあります。

本件は標準的な土質調査のため、決められた仕様で発注しておりますが、難しい場所で調査を行う場合は、技術提案を求めたうえで、現地に見合った調査を発注することもあります。最終的な設計や構造形式がはっきりとしない状況において、地盤調査会社だけで調査地点や数量等の技術提案を行うことは難しいと考えます。一方、調査結果を踏まえて受注者から追加調査等の提案があれば、必要に応じ柔軟に対応することは可能です。

【事案4】 簡易公募型プロポーザル方式（建設コンサルタント等） 「令和6年度 東京国際空港建設副産物等検討業務」 1 者応募の理由は何か伺いたい。 技術者不足の対策は取られているのか伺いたい。 本業務について、建設副産物の検討と土壌汚染対策という二つの業務を一つにまとめて発注しているため、1 者応募であったと思う。今後、1 者応募解消のための改善策について伺いたい。 どのような土が発生するかわからない等、不確定要素が多く検討が難しい一方で、入札説明書記載の参考業務規模の金額が見合わないものとなっているために、そのことが応募意欲を妨げ1 者応募につながっていることはないのか伺いたい。 技術士の資格要件について、本業務では建設部門等の「部門」までではなく、更に細分化された「選択科目」まで設定しているが、こちらの方が、より業務内容に合致した高度な能力を持った技術者を確保することができ、品質の高い成果が得られるものとする。他の業務においては、「選択科目」まで設定していなかったと思うが、本業務で設定した理由と、応募した者の技術士の「選択科目」について、どのように確認しているのか伺いたい。	公告資料をダウンロードした数者にヒアリングを行ったところ、技術者不足で業務体制の確保ができなかったと聞いております。 今回は、建設副産物の検討と土壌汚染対策という二つの業務は同じ専門性を持つため、一つにまとめることで、技術者不足への対策を行いました。 今回は一つにまとめて発注しましたが、結果1 者応募でした。この状況を踏まえ、入札参加がしやすい適切な規模での発注など対応を検討してまいります。 各種調整が多い業務ではありますが、参考業務規模については、積算基準に基づいた金額となっておりますので、妥当であると考えております。 これまでの業務では、建設部門等の「部門」までの設定としておりました。ただし、建設部門が取り扱う分野は非常に広いことと、本業務の内容は専門性が高い知識が必要であることを鑑み、「選択科目」まで設定し、（公社）日本技術士会から発行される「技術士登録等証明書」で確認しています。一方、「選択科目」を求めることで応募者数の減少につながる可能性も否めないと考えますので、業務の専門性や難易度だけではなく、技術者の確保を十分に勘案したうえで、競争性を確保しつつ、適切な資格要件の設定となるよう検討してまいります。
--	--

【事案5】 一般競争入札方式（役務の提供等） 「令和6年度 南鳥島港湾保安全管理所車庫シャッター交換」 南鳥島は離島であり対応できる業者も少ないと思うが、入札に参加しやすくするため例えば工事価格にインセンティブを与えるなど、入札参加者を増やす見込み等はあるのか伺いたい。 予定価格に対して低い落札金額である事と、2者の応札金額に差が出ているところだが、その差についてどのような要素があるのか伺いたい。	通常は積算基準に基づき工事価格を算出しますが、南鳥島の業務においては、積算基準が馴染まず、そのままは使用できないため、見積りも参考に積算し予定価格を設定しております。 落札者には、応札価格で業務が実施できるのか確認をしており、落札者は自社製品が使用できること、専任の技術者を現地に派遣できること等から落札金額にて問題なく履行が可能とのことでした。もう1者については、技術者派遣等を踏まえたうえで、この金額で応札したと推測されます。
【まとめ】 本日の審議に関して、特に意見の具申及び勧告等はない。	

【工事】

入札方式	工 事 名	工事種別	競争参加資格 を確認した者の 数	入札参加 者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位：千円)	落札率 (単位：%)	備 考
一般競争入札方式（WTO）	令和6年度 横浜港本牧地区荷さばき地改良工事	空港等土木工事	8	8	R6.9.30	東洋・りんかい日産・大本特定建設工事 共同企業体	2,736,800	92.1	
一般競争入札方式	令和6年度 茨城港常陸那珂港区外港地区東防波堤根 固工事	港湾土木工事	7	5	R6.7.8	株式会社大曽根建設	39,490	99.1	

【建設コンサルタント等】

入札方式	業 務 名	業種区分	競争参加資格 を確認した者の 数	入札参加 者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位：千円)	落札率 (単位：%)	備 考
簡易公募型競争入札方式	令和6年度 千葉港千葉中央地区土質調査	測量・調査	8	8	R6.5.9	基礎地盤コンサルタンツ株式会社	34,265	77.8	

【建設コンサルタント等】

入札方式	業 務 名	業種区分	手続への参加資格 及び業務実施上の条件を満たす 参加表明書の提出者数	技術提案 書の提出 者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位：千円)	落札率 (単位：%)	備 考
簡易公募型プロポーザル方式	令和6年度 東京国際空港建設副産物等検討業務	建設コンサルタ ント等	1	1	R6.4.10	パシフィックコンサルタンツ株式会社	35,090	99.9	

【役務の提供等及び物品の製造等】

入札方式	業 務 名	業種分類	競争参加資格 を確認した者の 数	入札参加 者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位：千円)	落札率 (単位：%)	備 考
一般競争入札方式	令和6年度 南鳥島港湾保安管理所車庫シャッター交換	役務の提供等	2	2	R6.4.2	三和シャッター工業株式会社	4,620	40.4	